

# 経営比較分析表

香川県 綾川町

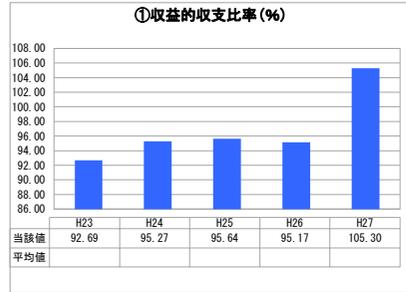
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	38.54	85.52	2,592

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
24,742	109.75	225.44
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,504	4.75	2,000.84

## グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



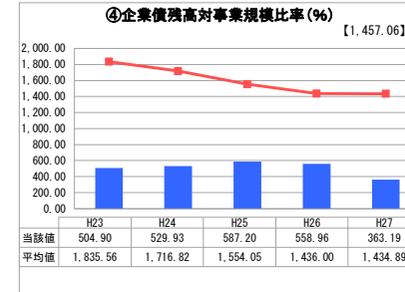
「単年度の収支」



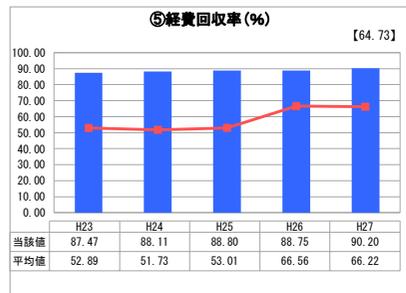
「累積欠損」



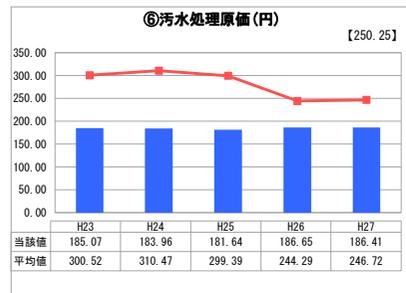
「支払能力」



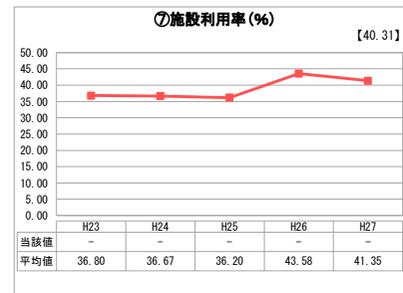
「債務残高」



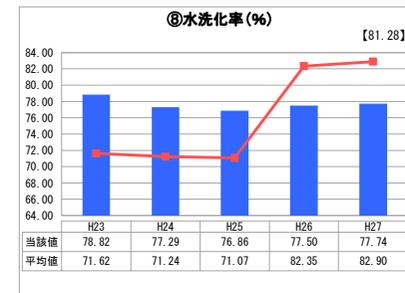
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

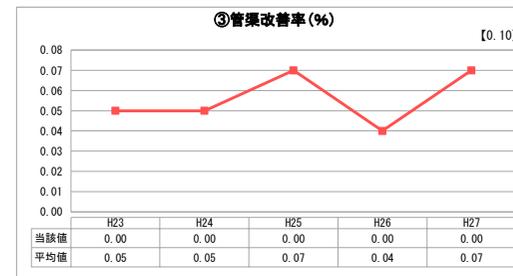
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が100%を越えているが、使用料収入以外によるものである。また、経費回収率は100%を下回っているが、類似団体平均値を上回っており比較的安定した経営となっている。昨年度より未接続者加入促進に取り組み一定の成果を上げたと思われるが今後も安定した経営を目指すための方策を検討する。

企業債残高対事業規模比率及び汚水処理原価は、類似団体平均値を下回っている。企業債残高対事業規模比率は、前年度と比較して195.77%減と改善しているが、これは繰出基準に基づく一般会計負担額の増和使用料収入の増によるものであり、今後も大規模な整備計画がないため緩やかに減少傾向に向かう。

本事業は、流域下水道に接続し、終末処理場を保有しないことから、施設利用率の指標はない。

### 2. 老朽化の状況について

数値としては、今回の経営比較分析表に記載がないものの、平成4年度に下水道工事に着手しており、管きょにおいては、法定耐用年数に対し経過年数が浅く更新工事が急務とは考えていない。なお、附属施設であるMP設備は、近い将来、機器更新が必要となる時期を向かえることが想定され、引き続き適正な維持管理に努めるとともに、更新計画を検討する必要があると考えている。

### 全体総括

平成27年度決算及び今後の見通しについて、費用面で経営に大幅な影響を与える要因は少ないものと考えられるが、今後の整備状況を踏まえると大幅な使用料収入の増加は望めないため、水洗化を推進し使用料収入の安定化を目指すとともに、維持管理費の削減に取り組んでいく。

また、公会計制度、経営戦略の策定などを通して中長期的視点にたった下水道経営のあり方を検討していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。